

## 「平成28年度佐賀県教育施策実施計画」に基づく取組の実績全体に対する有識者会議での意見 (外部評価)

- ・ 高校卒業生の離職率が高いという問題がある。今後は、初職から離職することを念頭においた高校の進路指導をしていく必要はあるのではないかと思う。再就職の方法をいくつか用意しておくことと、再就職のための人付き合いができるような力を身に付けさせることが大事である。
- ・ 高校においては、中途退学者問題がある。退学した後についてもサポートしていく取組を知事部局が行っているが、そこだけでは難しい部分もあるのではないか。高校再編や特色ある学校づくりの問題にしても、15歳から18歳の子供たちの未来を県が一丸となって作っていくという取組が不可欠ではないかと思う。それが見えてくる取組が出てくれば、佐賀県は若者を大事にしている県だと思われるのではないか。